

東海市の姉妹都市

マセドンレンジズ市(オーストラリア)



MACEDON RANGES SHIRE



● 提携年月日 平成26年10月16日



・マセドンレンジズ市の概要

マセドンレンジズ市は、カイントン地域を始め9つの地域によって成り立っており、オーストラリア第2の都市・メルボルンから車で北西へ1時間ほどの場所にあります。

市の面積の大半は豊かな自然や広大な農場であり、気候は温暖で、マセドン山を擁するマセドン山脈の豊かな森林や、溶岩流によって作られた渓谷などが特徴的で、肥沃な土壌と多様な生態系を育てています。また、火山噴火によってできた山であるハンギングロックや、マセドン山の山頂にある戦没者記念碑のメモリアルクロスは、市の象徴的な建造物となっています。

主要産業は観光業と農業です。観光業では豊かな自然と古い

町並みを主要な観光資源として、年間を通じてお祭りや芸術、文化などのイベントを催して、観光客誘致を図っています。

◎面積：約1747・
◎人口：約4万8千人

農業では羊や牛の飼育・交配が盛んであり、町の周辺では、大規模農業経営が行われています。

丘陵地帯にはぶどう畑が広がり、東海市内でも提供されているワインの醸造所であるハンギングロックワイナリーをはじめとした多数のワイナリーが点在し、近年では国内有数のワイン産地として知られています。

・提携までの経緯

平成14年度から東海市国際交流協会を中心にお互いの市の訪問と交流が続いており、友好を深めてきました。

平成23年度からは「東海市海外体験学習事業」として、毎年中学生がマセドンレンジズ市でホームステイを行っています。

様々な交流を経て、平成25年9月にマセドンレンジズ市長始め訪問団4名を本市にお迎えし、姉妹都市提携に向けた覚書を締結、翌年の平成26年10月16日に東海市長、東海市議会議長始め東海市国際交流協会主催の市民ツアー20名も参加し、マセドンレンジズ市にて姉妹都市提携調印式が行われました。

